

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント
ニュース



since 1972
Japanese Society
of Oral Implantology

第8号

平成20年8月10日発行

Implant News No.8

(社)日本口腔インプラント学会会報

発行人 川添 堯彬 編集 (社)日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 芝コトブキビル301

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

Eメールアドレス : jsoi@peace.ocn.ne.jp

【本号のトピックス】

平成20年度総会報告・第38回学術大会案内・支部学術大会案内・口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会案内

平成 20 年度総会開催される

平成 20 年度総会が、平成 20 年 6 月 22 日(日)に日本歯科大学生命歯学部において開催されました。今回のニュースレターでは、総会の模様および総会での承認事項をご紹介します(関連記事 2, 3, 9 ページ掲載)。

本総会には、委任状を含めて 5,528 名の出席があり、正議長に江藤隆徳氏、副議長に萩原芳幸氏が承認され、会に入りました。まず、議長から議事録署名人に三村義昭氏および小川 優氏が指名、承認されました。

報告事項として、平成 20 年度名誉会員および表彰者並びに平成 20 年度優秀研究発表賞受賞者およびデンツプライ賞受賞者の紹介が山内六男常務理事からありました。

議事は、前回議事録承認から始まり、山内六男常務理事から平成 19 年度事業報告書の説明が

あり、承認されました。次いで、平成 19 年度収支決算書について山根 進財務委員長から説明があり、長岡英一監事から監査報告があった後、承認されました。また、川添堯彬理事長から、次期本部評議員候補者および次期本部予備評議員候補者の説明があり、承認されました。最後に、山内六男常務理事から、第 38 回学術大会大会長に相浦洲吉氏を、第 39 回学術大会大会長に市川哲雄氏を選任したい旨提案があり、承認されました。

その後、相浦洲吉理事から閉会の挨拶があり、すべての議事を終了しました。

次回の総会は平成 21 年 3 月 26 日(日)に開催される予定です。この総会では、次期理事、次期理事長の承認がありますので、多数のご出席をお願いいたします。

次期評議員紹介

(任期 平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

以下の先生方が次期評議員として平成 20 年 6 月 22 日(日)開催の総会において承認されましたので、ご紹介いたします。

(東北・北海道支部)

越智守生, 広瀬由紀人, 井上農夫男, 横山敦郎,
塩山 司, 山森徹雄, 君塚 哲, 福田雅幸,
木村博人, 松沢耕介, 三嶋 顕, 杉村俊之,
高橋康則, 小川 優, 吉村治範, 堤 厚二,
石井良明, 神田昌巳, 藤原秀光, 梅原一浩,
田中純一, 西郷慶悦, 中里滋樹, 足立幸一郎,
高木幸人, 鷺谷一晴, 佐藤暢也, 古澤利武,
山下 忍, 渡部好造, 松沢祐介, 夏堀礼二

(関東・甲信越支部)

佐藤淳一, 新井 高, 高橋常男, 塩田 真,
立川敬子, 小田 茂, 加藤仁夫, 岡本 茂,
井上 孝, 井出吉信, 吉成正雄, 高橋俊之,
土倉 康, 森永一喜, 小木曾文内, 田辺直紀,
萩原芳幸, 小森規雄, 豊間 均, 白川正順,
大里重雄, 高森 等, 代居 敬, 小倉 晋,
宮崎 隆, 佐藤裕二, 尾関雅彦, 蓮池敏明,
嶋田 淳, 上松隆司, 伊藤充雄, 又賀 泉,
渡邊文彦, 廣安一彦, 阿部廣幸, 片山幸太郎,
植田章夫, 秋葉正一, 小笠原健文, 村瀬博文,
相浦洲吉, 深井眞樹, 佐藤甫幸, 井上 達,
井汲憲治, 大田善秋, 柏原 毅, 新井幹男,
浅賀 寛, 若井広明, 萬葉陽己, 奥寺 元,
柳 時悦, 古谷田泰夫, 原田庸平, 入江修充,
根岸邦雄, 関根智之, 安田治男, 木村憲一,
榎本紘昭, 黒岩 茂, 倉嶋敏明, 佐藤正治,
星野清興, 藤野 茂, 定永健男, 古屋延明,
中村正和, 伊藤 賢, 輿 秀利, 梨本正憲,
五十嵐俊男, 築瀬武史, 奥森直人, 江黒 徹,
宮坂 伸, 田中譲治, 笹谷和伸, 吉田浩一,
小澤幸重, 松坂賢一, 河奈裕正, 小久保裕司,
米山隆之, 佐藤 聡, 勝山英明, 飯島俊一,
北條正秋, 武田孝之, 本橋雪子, 盛島美智子

(中部支部)

伊東 哲, 伊藤正樹, 大竹和行, 大原敏正,
河合達志, 川口和子, 栗田賢一, 小松晋一,

杉田 基, 高木哲朗, 高嶋秀隆, 田島伸也,
塚本信隆, 内藤宗孝, 中嶋昭雄, 永原國央,
中村伸也, 新美 敦, 橋本賢二, 林 尚史,
日比英晴, 福与誠邦, 藤原道夫, 堀田康記,
蒔田真人, 松下至宏, 村上 弘, 山内六男,
山口陽道, 山田雅夫, 式守道夫, 尾関順子,
梶本忠保

(近畿・北陸支部)

大村 桂, 竹内宏行, 村井健二, 陳 正和,
伊井克安, 前田 昇, 古藤俊和, 瀬戸俊男,
梶岡宣好, 室木俊美, 島 信博, 山田真樹,
上り口寛武, 清水孝治, 野阪泰弘, 由良 博,
和手甚京, 武田太之, 内藤一成, 上田保秀,
野阪幸男, 宝達照樹, 石見隆夫, 市原 聡,
岡田隆夫, 奥田謙一, 川原 大, 久保茂正,
康 祐國, 阪本貴司, 福西一浩, 福西啓八,
田中義弘, 涌本 昇, 郷上 勲, 若松陽子,
井上雅裕, 江藤隆徳, 覚道健治, 川添堯彬,
小谷順一郎, 末瀬一彦, 諏訪文彦, 十河基文,
前田芳信, 佐野和生, 別所和久, 楠本哲次,
田中昌博, 更谷啓治, 川上哲司, 江原雄二,
森本哲司, 和田貴美代

(中国・四国支部)

窪木拓男, 園山 亘, 赤川安正, 久保隆靖,
武知正晃, 市川哲雄, 宮本洋二, 藤澤健司,
友竹偉則, 長島駿一郎, 篠崎文彦, 玉木祐之助,
岸 祐治, 森島秀一, 河上雄之介, 岸 民祐,
山根 進, 田中 悟, 下御領良二, 斎賀文雄,
蓮井義則, 岡本康生, 村上広樹, 重松佳樹,
加藤智彦, 大林由美子, 陶山ケイ子

(九州支部)

細川隆司, 横田 誠, 高橋 哲, 古谷野潔,
冲本公繪, 松下恭之, 松浦正朗, 佐藤博信,
松永興昌, 原 宜興, 澤瀬 隆, 長岡英一,
中村康典, 後藤昌昭, 中野 充, 糸瀬正通,
山道信之, 岸 克好, 渡辺哲章, 田中秀樹,
江口喜雄, 森永 太, 松井孝道, 上窪高志,
児玉利朗, 山田康生, 許斐義彦, 伊東隆利,
吉永 修, 竹田博文, 阿部成善, 土屋直行,
宮城正廣, 高良政勝, 上田秀朗, 寺田善博,
添島義樹

(以上 275 名)

平成 19 年度決算・ 平成 20 年度予算報告

財務委員会委員長 山根 進

平成 19 年度決算報告

平成19年度の事業活動収入決算額は222,987,175円、事業活動支出決算額は213,566,113円であり、事業活動収支差額は9,421,062円の黒字でした。投資活動収支および予備費を加えた当期収支決算差額は8,035,062円の黒字でした。

事業活動収入において、受取入会金は800人の入会を見込んで、4,000,000円を予算計上していましたが、約1,700人が入会しましたので、決算額は8,622,000円になりました。会員数が増加したにも関わらず、会費収入は75,800,000円の予算額に対し74,241,000円の決算額であり、伸び悩んでいます。次年度は会費徴収に一層の努力をしたいと考えています。学術大会運営事業収入は本部と支部を合わせて48,180,000円の予算を計上しましたが、参加者の増加等で100,509,442円の決算額になりました。約5千2百万円の増加であります。学術大会運営事業費は52,503,000円の予算額に対して108,869,290円の決算額であり、約5千6百万円の増加でありました。専門医制度等運営事業収入の決算額は24,420,000円で2,500,000円増加しておりますが、これは平成19年度から始まったインプラント専門歯科衛生士およびインプラント専門歯科技工士制度による申請料および登録料等によります。

事業活動支出について、事業費は予算に対して決算は61,402,076円の増加ですが、上記で述べました学術大会運営事業費がほとんど占めています。機関誌刊行事業費の決算額は27,500,500円で7,440,500円の増加ですが、このうち、印刷費が21,027,782円、発送費が5,537,783円であります。管理費は予算に対して決算の執行率は90%であり、予算内におさまっています。賃貸料は2,080,852円の増加ですが、これは新たに会議室を5階に借りて、3階の事務局との事務能率をあげ、会議の円滑な運営をはかりました。

以上により、次期繰越収支差額は前年度より8,035,062円増の46,436,346円になりました。

平成 20 年度予算

事業活動収入は前年度予算より37,042,500円増の199,734,700円計上し、事業活動支出は前年度予算より36,999,100円増の194,257,100円を計上しました。その結果、事業活動収支差額は5,477,600円となり、予備費4,330,000円を差し引いた当期収支差額は1,147,600円の黒字を計上しました。第38回学術大会用繰越金3,000,000円を含んだ前期繰越収支差額を46,004,200円と計上し、次期繰越収支差額は第39回学術大会用繰越金2,000,000円を含んだ47,151,800円増の予算を組みました。

個別的に前年度予算に対して差額が大きく増減している予算科目について説明します。平成19年度の入会者は約1,700人でしたが、過去3年間の実績から平成20年度の入会者を1,000人とした結果、入会金収入は1,000,000円増の5,000,000円としました。会員増により、会費収入は14,700,000円増の90,500,000円、学術大会運営事業収入は19,430,000円増の67,610,000円としました。また専門医制度、インプラント歯科衛生士および歯科技工士制度の充実により、専門医制度等運営事業収入は1,680,000円増の23,600,000円としました。

支出として、会員増等から学術大会運営事業費は22,168,100円増の74,671,100円としました。平成20年度より学術大会抄録集を学会誌特別号として発行するために機関誌刊行事業費は12,340,000円増の32,400,000円計上しました。各種委員会等運営費は9,200,000円減の2,100,000円にしましたが、これは科目の再編成により、理事会、総会、財務委員会、監査会議等の組織運営費を事業費の各種委員会等運営費から切り離して、管理費の会議費に計上し、委員会費は関連する事業科目に組入れましたが、事業科目のない委員会費用はまとめて各種委員会等運営費に計上したためであります。社会連携関連事業費は1,400,000円増の4,800,000円を計上しました。これは以前のニューステータ発行事業費およびホームページ運営事業費をまとめて社会連携関連事業費に計上したためであります。

第1回「口腔インプラント専門医 臨床技術向上講習会」開催案内

教育委員会委員長 渡邊 文彦

社団法人日本口腔インプラント学会インプラント専門医がいよいよスタートしようとしております。これも会員一同のご尽力と専門医に対する熱い思いのおかげと感謝致しております。現在、会員も日増しに増加しており、すでに9,000名を超えようとしています。さらにインプラント専門医数も増加していくことが予想されます。インプラント専門医には臨床の場での高い治療技術が求められております。これら治療技術を高めていくことはインプラント専門医としての使命です。

このようなことから、(社)日本口腔インプラント学会専門医の臨床治療技術向上を目ざし、定期的に講習会を開催することになりました。今回は第1回目として、「適切な診断およびインプラント外科埋入手術」をテーマに、インプラント埋入術式に求められる解剖、インプラント治療の診断基準、医療安全と外科処置、骨移植と長期予後、上顎洞挙上手術と合併症、SACからみた症例の分類、インプラント治療に関わる医療問題と防御について2日間にわたり実施致します。なお、20日(土)には夕食後に講師を囲んでフリーディスカッションの時間を設けています。体力の続く限り?テーマに関する議論を深めたいと考えています。これから認証医、専門医取得を希望される方でも受講可能です。

日程、申し込み等につきましては下記のとおりです。奮ってご参加ください。

申込先：(社)日本口腔インプラント学会

口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会係
学会ホームページから申込書入手し、事務局
へファックス(03-5765-5516)またはメール
してください。参加者には後日詳細を連絡致しま
す。

日 時：平成20年
12月20日(土)13:00~19:00
12月21日(日)9:00~15:00

会 場：新潟県越後湯沢 NASPAニューオータニ
参加費：30,000円

(宿泊費、食費、資料代等を含む)

定 員：150名

締切日：平成20年9月19日(金)

(なお、定員になりしだい締め切らせて
頂きます)

講 師：又賀 泉 (日本歯科大学新潟生命歯学
部口腔外科学第二講座)

高森 等 (日本歯科大学附属病院イン
プラント診療センター)

松浦正朗 (福岡歯科大学咬合修復学講
座口腔インプラント学分
野)

河奈裕正 (慶應義塾大学医学部歯科・
口腔外科学教室)

伊東隆利 (熊本市, 伊東歯科)

菅井敏郎 (東京医科歯科大学インプラ
ント治療部)

若松陽子 (大阪市, 学会顧問弁護士)

単 位：20単位(認証医申請、専門医受験お
よび専門医更新に必要な学術大会参加
または専門医教育講座受講の単位)



ホームページ一新

広報委員会委員長 春日井昇平

既に気づかれた方も多いと思いますが、本学会のホームページのデザインが一新されました。

広報委員会の主目的は学会員に広く広報活動を行うことですが、さらに本委員会には社会一般に対しても広報活動を行うことも求められています。本委員会の活動は、インプラントニュースの編集発行と、学会ホームページからの情報発信です。インプラントニュースの編集は、学会の活動方針の広報、学術大会の報告と案内、各支部会の活動報告、研修施設の紹介を中心に行っています。インプラントニュースは昨年度より年2回の発行を行っており、会員の皆様にお届けしています。インプラントニュースのような紙の媒体に比較して、ホームページには迅速性と簡便性という大きなメリットがあります。ホームページにアクセスすることで、学会員は必要な情報（学術情報、学会案内、認定医規則等々）を迅速簡便に得ることが可能です。さらに、ホームページを通して本学会から社会への情報発信を行うことが容易に可能です。本委員会には社会一般への広報活動を行うことも求められていますので、今後はホームページを通してこの役割を積極的に果たしていきたいと考えております。

最近、学会員がご自身のホームページをお持ちで、そのホームページから本学会のホームページへのリンクの可否について問い合わせが頻繁にあります。学会員のホームページから学会ホームページへのリンクは全く問題ありません。学会員皆様のお役に立てる広報委員会でありたいと思っておりますので、ご意見あるいはご質問ありましたらメール（kas.mfc@fmd.ac.jp）でご連絡ください。よろしくお願い致します。

年次学術大会案内

第38回(社)日本口腔インプラント学会 学術大会

大会長 相浦洲吉

本大会は「ガイドラインを備えたインプラント治療」をテーマに、9月12日（金）から9月14日（日）まで東京国際フォーラムにて開催されます。

大会全体を特色づけているのは、メインテーマに沿って、わが国と欧米・アジア諸国の状況を考えてみようということです。したがって、各国・各大学の臨床から最先端の研究まで網羅しています。

当学会理事長川添堯彬先生による基調講演に始まり、日本歯科医学会から井出吉信先生による招待講演でガイドライン構築についてのお話があります。

特別講演（5題）、シンポジウム（2題）、アジアセッションは現在口腔インプラントに求められていることについて、あらゆる方面よりのアプローチがなされることでしょうか。課題口演、一般口演、ポスター発表も過去にない多数の応募を頂きました。会員の口腔インプラントに対する情熱のようなものを感じていただけるものと思います。そこから新規な術式、考え、また問題提起等が期待でき、口腔インプラント学の向上に役立つ一助になるのではないかと、主管させていただく我々も感謝しております。

今大会はもう一つ大きな特徴を用意しました。それは公開講座として、基礎医学者の集い、日本歯科放射線学会の集い、日本歯科麻酔学会の集い、日本口腔検査学会の集いを、各学会のご協力を得てプログラムできたということです。いずれの分野も今後口腔インプラントを行う上で重要な意味をもつことになるでしょう。必ずや皆様のお役に立つことと思います。

専門医教育講座も最新のテーマやトピックスが盛り込まれた内容になります。

インプラント専門歯科衛生士教育講座、インプラント専門技工士教育講座は、安全なインプラント治療・長期保存や審美的な口腔機能の回復に、またチーム医療の役割を担う内容が企画されています。両教育講座は専門衛生士、専門技工士の申請のためのポイントになっています。

ランチョンセミナーも多数の企業の協力をいただいております。最先端の情報を提供していただきたいと思います。

以上のように、総合的歯科治療としての口腔インプラント治療ということに立脚した企画をしています。多くの参加をいただき、口腔インプラント治療の向上に寄与していただきたいと思います。

9月に東京国際フォーラムでお会いできることを楽しみにしています。

事前登録は8月15日(金)までです。
登録は学会ホームページから行ってください。
事前登録時には必ず参加費の支払いをお済ませください。お済みでない場合には、当日受付の参加費となりますので、ご注意ください。

第39回(社)日本口腔インプラント学会 学術大会

大会長 市川哲雄

第39回(社)日本口腔インプラント学会学術大会は、平成21年9月25日(金)～27日(日)の3日間、大阪国際会議場で行われます。

メインテーマには「インプラント治療における医療安全」を掲げています。インプラント治療は既に歯の欠損に対する確固たる選択肢となっており、その提供しうる有益性と可能性の高さ、強まる患者要望の具現化のためにさらに先進展開しています。そして、その急速な進展ゆえに憂慮すべ

きことも多々起こってくるのが考えられます。

このような現状において本学会の果たすべき役割は極めて重要になっており、インプラント研究の推進だけでなく、会員の認定研修施設での認証医や専門医の教育システムの整備、充実、大学での卒前教育基準およびモデルコアカリキュラムの構築、卒後臨床研修、教育整備への貢献などが一層求められております。また、信頼される医療の構築にとって必要とされる診療ガイドラインの整備も本学会において進められています。

学会員が各々の診療の現場において、インプラント治療を「安心」、「安全」に提供できるように、第39回学術大会では「医療安全」をメインテーマとして、インプラント治療を基本から検証、考察していきたいと考えています。また、歯科分野における包括的な治療としてインプラント治療が成り立っていることから、他学会との共催シンポジウムや歯科衛生士セッション、歯科技工士セッションをプログラムしています。

以上のような趣旨をもって学術大会の準備を進めていますので、皆様の多くの参加をいただき、熱い議論を期待いたします。

開催日：平成21年9月25日(金)～27日(日)
場 所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

プログラムおよびその他詳細は順次公開予定ですので、本学会ホームページや会誌を参照してください。

主管：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 再生修復医歯学部 顎口腔再建医学講座 口腔顎顔面補綴学分野
〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15
Tel：088-633-7347
FAX：088-633-7461
E-mail：39JSOI@dent.tokushima-u.ac.jp

平成 20 年度 支部学術大会案内

第 28 回(社)日本口腔インプラント学会 東北・北海道支部総会・学術大会

大会長 古澤利武
実行委員長 山下 忍

「インプラントの長期安定のためには」をメインテーマに開催することになりました。インプラント表面と骨との関係はマクロ学的研究からミクロ的研究、そして現在におけるナノレベルでの研究に至っております。今回、専門医教育講座では「チタンインプラントの表面形状・表面化学構造」という演題で昭和大学歯科理工学教授の宮崎隆先生に講演していただきます。特別講演には解剖学的見地から日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学教授の影山幾男先生、金ホンギ先生に「韓国国民のインプラントに対する QOL」という演題にて講演していただきます。教育講演として、東北大学大学院医工学研究科教授の佐藤正明先生に「インプラントと骨に対する力学的研究」という演題にて講演していただきます。衛生士セクションでは、東京歯科大学口腔インプラント科主任の尾谷始子さんに「定期ケア」、福島県東白川穂積歯科勤務インプラント専門衛生士の遠藤美香さんに「一般開業医におけるインプラント衛生士の役割」と題して講演をしていただきます。その他スタッフワークショップも企画しております。技工士セクションも予定しております。また、「生活習慣予防と咀嚼」をテーマに公開講座を開催することになっております。

この学会期間中の仙台は大変気候が良く、秋の行楽シーズンの始まりですので混雑が予想されます。是非、早めの宿泊、参加登録をお願い致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日：平成 20 年 10 月 11 日(土)・12 日(日)
会 場：仙台情報・産業プラザ(アエル 5F・6F)

連絡先：〒982-0001 仙台市太白区八本松1-7-42
古澤歯科医院
Tel：022-249-5121 Fax：022-248-2607

第 29 回(社)日本口腔インプラント学会 中部支部総会・学術大会

大会長 橋本賢二
実行委員長 鳥居正雄

第 29 回(社)日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会を下記の要領で開催します。会員各位におかれましては、多数のご発表とご参加をお願い致します。

開催日時：2008(平成 20)年 11 月 30 日(日)、
9：00 開会予定
開催場所：JR 浜松駅前のアクトシティ浜松
(浜松市中区板屋町 111-1) を予定
プログラム：

特別講演には「ビスフォスフォネートによる顎骨壊死の臨床病態—インプラント治療との関連を含めて—」と題して、兵庫医科大学歯科口腔外科学講座 浦出雅裕教授をお願い致しました。専門医教育講座は、鶴見大学口腔顎顔面インプラント科科長兼口腔外科学第 1 講座 佐藤淳一准教授に「上顎臼歯部のインプラント治療について—サイナスリフト、ソケットリフト、傾斜埋入法を中心に—」を、専門歯科衛生士教育講座は、なるかわ歯科医院歯科衛生士 畑 浩美先生に「歯科衛生士として理解したいインプラント治療」を、専門歯科技工士教育講座は、和田精密歯研(株)常務取締役生産本部長の樋口鎮央先生に「インプラント上部構造への CAD/CAM 応用」をお願い致しました。

昼休みはランチョンセミナーを、会期中は企業展示も予定しています。また、市民公開講座を開いて、多くの方々に口腔インプラントを理解して貰うよう企画しました。演題抄録の締め切りは 8 月末日で、ホームページから応募頂くことになっていますので、よろしくお願い致します。

第28回(社)日本口腔インプラント学会 近畿・北陸支部総会・学術大会

大会長 前田芳信
(大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学
講座歯科補綴学第二教室)

(社)日本口腔インプラント学会近畿北陸支部の平成20年度総会・学術大会は、平成21年1月24日(土)、25日(日)の両日に大会長 前田芳信、実行委員長 阪本貴司(大阪口腔インプラント研究会)で千里ライフサイエンスセンター(千里中央)で開催を予定しています。

今回のメインテーマは「インプラントが普及してきた今こそ考える」とし、24日の17:00-18:30の専門医教育講座では萩原芳幸先生(日本大学歯学部附属病院歯科インプラント科)に「リスクファクターからみたインプラント治療のガイドライン」についてお話頂きます。

25日には一般口演、ポスター、ランチョンセミナーのほかシンポジウム1「ビスフォスフォネートと顎骨壊死」では米田俊之先生(大阪大学)と高石佳知友先生(姫路市開業)に、シンポジウム2「歯周組織の再生：インプラント治療の前に」では村上伸也先生(大阪大学)と畠山善行先生(大阪市開業)にお話し頂く予定にしています。

また、25日の午前には専門歯科技工士教育講座(末瀬一彦先生)ならびに専門歯科衛生士教育講座(柏井伸子先生)も開催予定です。

なお、市民公開講座は日と場所を改めて 本年11月に開催する予定です。

参加登録ならびに演題の申し込み等の詳細は大会ホームページ

(<http://www.dent.osaka-u.ac.jp/~prost2/kinhoku/index.html>)に掲載予定です。

第28回(社)日本口腔インプラント学会 中国・四国支部総会・学術大会

開催日：2008年12月6日(土)、7日(日)

会場：広島大学広仁会館

名誉大会長：山科 透(広島県歯科医師会会長)

大会長：赤川安正(広島大学大学院医歯薬学総合研究科先端歯科補綴学研究室)

準備委員長：阿部泰彦(広島大学病院口腔維持修復歯科口腔インプラント診療科)

連絡先：〒734-8553 広島市南区霞1-2-3
広島大学大学院医歯薬学総合研究科先端
歯科補綴学研究室

Tel：082-257-5677 Fax：082-257-5679

E-mail：prostho1@hiroshima-u.ac.jp

内容：一般口演、専門医教育講座、シンポジウム「インプラント治療のための骨補填材の現状と未来」、市民公開講座「安全で信頼されるインプラント治療」、インプラント専門衛生士・技工士教育講座、ランチョンセミナーI・II(予定)

第26回(社)日本口腔インプラント学会 九州支部総会・学術大会

大会長 宮城正廣
準備委員長 塩浜康良

第26回(社)日本口腔インプラント学会九州支部学術大会は、平成21年2月21日(土)、22日(日)の2日間、那覇市に隣接しています浦添市でだこホールで開催されます。準備委員会においても鋭意準備に取り組んでいるところでございます。

沖縄県では一月の中旬に全国で一番早い桜祭りが開催されますので、大会が開催されます二月の下旬ですと、春の陽気で一番いい季節です。是非とも多くの会員各位のご参加をお願い申し上げます。

大会の概要：

テーマ：高齢化社会とインプラント

平成21年2月21日(土)：専門医教育講座、(社)日本口腔インプラント学会九州支部世話人会、市民フォーラム、会員懇親会

2月22日(日)：総会、特別講演(水上哲也先生福岡県開業 予定)、一般講演、ポスター発表、歯科技工士セッション、歯科衛生士セッション

会場：浦添市でだこホール

懇親会会場：沖縄ハーバービューホテルクラウン

プラザ

大会事務局：

〒901-0241 沖縄県豊見城市豊見城 368-1

しおはま歯科医院

準備委員長：塩浜康良

Tel 098-851-1234 Fax 098-851-1181

九州支部便り

支部長 伊東隆利

日本口腔インプラント学会の歴史始まって以来の3,500名余の参加者を集めた第37回学術大会（添島義和大会長）が平成19年9月熊本ので開催され、九州支部総がかりで、成功に導き、一同これからのインプラント領域の発展の予兆を感じたところでした。全国からお集まりいただいた皆様へ改めて厚く感謝申し上げます。

平成20年4月から添島義和理事・九州支部長が役員の停年規程により退職され、理事としては松浦正朗福岡歯科大学教授が選出され、九州支部長は伊東隆利（九州インプラント研究会）が選出され、残りの期間を務めることとなりました。

長年日本口腔インプラント学会に尽力された添島義和先生に深甚なる感謝と同時に先生の今後のご指導をお願いし、会員皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

平成20年6月15日現在、九州支部会員は1,233名で、関東甲信越支部（3,510名）、近畿・北陸支部（1,627名）について3番目を誇る会員数です。全国では9,018名で、日本歯科医学会の中で最大規模の学会となりました。今後、会員の質の向上、会務の効率的な運営が望まれるところです。

平成21年～22年度の本部評議員候補者及び予備候補者の選出が行われました。35名の評議員候補者と3名の予備候補者が選出され、それに理事長指名の本部評議員候補者2名が加わり、6月22日の理事会、評議員会、総会で承認されました。

平成20年度九州支部学術大会について

第37回（社）日本口腔インプラント学会学術

大会と第25回九州支部学術大会は併催であったため、この平成20年度は支部としての学術大会はなく、第26回九州支部学術大会が久方ぶりに平成21年2月21～22日に浦添市において宮城正廣実行委員長の下に計画が進んでいます。

九州支部はこれまで諸先生方の努力により、大学・研究機関と臨床家が密接に協力して活動してまいりました。これからもこの方針を遵守し、インプラント学、インプラント臨床の発展に寄与したいと考えていますので、よろしくご指導、ご支援をお願いいたします。

平成20年度名誉会員 ならびに表彰者紹介

名誉会員

内田康也氏（九州支部）

学会特別賞

後藤一輔氏（関東・甲信越支部）

長島駿一郎氏（中国・四国支部）

学会優秀論文賞

竹内一夫氏（愛知学院大学歯学部歯科補綴学第二講座）

学会奨励論文賞

田崎純一氏（北海道医療大学口腔外科学第二講座）

新井是宣氏（大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座）

学会優秀研究発表賞

神野洋平氏（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座咀嚼機能再建学分野）

吉田有里氏（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎面補綴学分野）

デンツプライ賞

長谷川巧実氏（神戸大学大学院医学系研究科外科系講座口腔外科学分野）

大堀ことは氏（北海道大学大学院歯学研究科口腔機能学講座口腔機能補綴学教室）

指定研修施設紹介

日本大学歯学部付属歯科病院特殊診療部 歯科インプラント科

施設長 萩原芳幸

日本大学歯学部付属歯科病院特殊診療部歯科インプラント科（以下インプラント科）は、平成14年に歯科病院機構の改革に伴い発足しすでに6年が経過しました。インプラント科発足以前は、インプラント治療は複数の診療科（講座）ごとに行われ、歯科病院としての管理体制の不備や、診療科間の連携不足などが指摘されていました。それらの諸問題を解決し、治療レベルの向上と患者一元化のために歯科インプラント科の設置が画策され、一年余の準備期間を経て設立に至りました。

現在インプラント科員は53名で、全員が補綴系・保存系・口腔外科・放射線の各診療科（講座）との併任です。どの大学においても同様であると思いますが、学部学生および院内生に対する教育、専門的な診療実績、研修医教育など、多くの教員は所謂「二足・三足の草鞋」を履かざるを得ません。特にインプラントは包括治療であり、様々な患者ニーズに対して幅広い対応が求められるため、最低でも臨床歴5年以上のベテラン教員が各所属診療科長（講座の主任教授）の推薦をもって、初めてインプラント科員として登録されます。

歯科インプラント科の基本理念と診療概念

平成14年のインプラント科設立に際し、当科におけるインプラント治療の基本方針と教育機関としての役割を明確にするために、『歯科インプラント科の基本理念と診療概念』を制定しました。その骨子を紹介することで、当科の研修施設としての治療および教育概念の一端をご理解いただくと幸いです。

1. 歯科インプラント科の基本理念

歯科インプラントは欠損補綴処置の一手段として高い専門性が要求され、米国・欧州においては大学および専門医（補綴、歯周、口腔外科）を中心に臨床が行われている。しかし、わが国において大きく欠落しているのは、大学による高水準のインプラント臨床、専門教育システム、ならば

に学際的なイニシアチブである。以上の点を鑑み、日本大学歯学部付属歯科病院特殊診療部歯科インプラント科は、高水準の歯科インプラント治療を通して広く国民の健康維持に貢献することはもとより、安全で予知性の高い歯科インプラント治療を幅広く指導・啓蒙する役割と責任を担うものである。

2. 歯科インプラント科の診療概念

当科では最終補綴装置の機能および審美性を考慮し、生物学および生体力学的に満足したインプラント修復を行う、いわゆる「補綴主導型インプラント」に基づくものとする。この実践のためには、修復担当医が綿密な治療計画と最終補綴装置の設計を行い、外科担当医との協力体制の下に治療を進めなくてはならない（インターディシプリナリアプローチの実践）。また、インプラント治療は包括治療であるため、全顎的な治療計画のなかでインプラントの応用を考慮に入れた効率的な治療指針を明確にしなくてはならない。

歯科インプラント科の活動状況と問題点

現在隔週で医局会およびカンファレンスを行い、特に手術計画を中心に問題点の抽出、意見交換および包括的治療計画等を検討しています。また、随時特別講演会や勉強会などを行っておりますが、学内に掲示を出して学生や教職員など幅広い参加を促すことを心がけています。

ちなみに平成19年度の治療実績は、インプラント埋入本数は約600本で、骨移植やサイナスリフト等の関連外科手術は95症例（埋入手術と同時も含む）です。最初に述べたように、現在インプラント科員はそれぞれの専門・学生教育診療も行っているために、インプラント治療のみに専念することができません。この状況には一長一短がありますが、純粋な初診患者以外に通常の治療からインプラント治療への移行や、他施設からの転医など様々な状況が混在するため、正確な患者状況や治療クオリティを掌握することができないのが最大の問題です。患者管理と治療の質の向上・均一化、インプラント科員以外の病院系教職員（研修医・大学院生）に対するインプラント教育と治療概念の共有などが中・短期的な課題であると考えています。

今やインプラントは現代歯科治療には欠くこと

のできないオプションになっています。当歯科インプラント科は治療行為のみならず、幅広い教育と安全で予知性の高いインプラント治療を啓蒙していくことを重要な使命の一つと捉えています。

ジャシド(新日本臨床歯科インプラント協会)

施設長 大村 桂

ジャシドは1993年に発足した臨床歯科インプラントの研究会です。本部事務局は京都市伏見区で開業する大村 桂会長の医院にあり、京阪神地区を中心に活動しています。会員は全国に広がっており、その数も2008年6月現在で89名にまで増加しました。近年は、認定講習会、例会を大阪駅に近いスカイビル22階を会場として開催しています。

当会の源流は、大村 桂会長に師事する歯科医が中心となって活動を始めた研究会であり、その歴史は1980年代にまで遡ります。当時の日本はバブル景気であり、米国をも駆逐する勢いでの大変な好景気で、そのことも手伝って歯科界においても高額な診療が多くの人たちに簡単に受け入れられ、心ない歯科医による、技術も知識も中途半端な業者主体の1日そこそこの研修会や商品紹介だけでいきなり臨床本番といった粗暴な臨床応用がなされ、その結果として医療事故や医事紛争がマスメディアによって報じられました。そのような現状をみて、大村 桂会長は現在の認定研修会の基礎ともいえる100時間コースを提唱した人物であります。100時間コースとはもともと米国で最も歴史のあるインプラント学会、AAID (American Academy of Implant Dentistry) が行っていた研修コースであり、このコースは現在ではMaxicourseと呼ばれる300時間を超えるコースにまで発展充実しているコースの原型でした。

当時この教育システムは日本臨床歯科インプラント協会という研究会において、全国各地で開催され、その受講生・会員の数は1,000名に迫る勢いでした。その当時はほとんどの歯科大学や歯学部においては、インプラントは未知なるものとして扱われ、研究段階というよりむしろ、否定的に扱われていたように記憶しています。また、当

時はまだ、オッセオインテグレーションという概念に基づくインプラントよりも、サブペリヤブレードインプラントが臨床応用されていることが多く、術式や材料に関しても国内での情報は業者任せであり、学術的な文献などは海外のものに頼るしかありませんでした。

そのような時代に、大村会長はAAIDの年次大会に参加するツアーを企画し、我々に米国でのインプラント歯科の現状を直接目にする機会を与えてくれました。日本国内では、オッセオインテグレーションタイプのインプラントとサブペリヤブレードは全く別のもので受け取られていますが、米国では、ブレードやサブペリも一時期、再建歯科の一つの方法としてしっかりと位置付けられていて、当時から歯科大学でも歯科医学教育のカリキュラムの中にも、もちろん組み込まれており、とりわけ、当時は、研究者や大学人のインプラントに対するとらえ方の日米間の違いには大変驚かされましたことを記憶しています。結果として、現在では日米いずれの国においてもその認識は、大差がなくなっていますが、インプラント歯科学の歴史的な進化の過程の違う米国においては、サブペリヤブレードの大家であるDr Linkowらの業績は高く評価されており、日本では悪の権化のごとき扱いを受けているサブペリに対しても、ボーンオーギュメンテーションのテクノロジーのなかった当時の状況を考えた場合、否定されるのではなく、一つの治療体系としての歴史上の評価を受けています。

話が横にそれてしまいましたが、そのように、大村会長が日本よりはるかに歴史のある米国のインプラント学会の幹部役員とも懇意であったおかげで、ジャシドの会員は様々なところで、米国からの様々なインプラントに係る情報や人物に巡り合うことができました。2006年度の企画した特別講演会の演者Dr Edward J Millsは、今をときめくチームアトランタのSalama兄弟の兄貴的人物であり、2005年度のAAIDの会長を務めた米国を代表するトップインプラントロジストですが、我々は彼が駆け出しのころからの20年来の友人であり、これは、Dr. Charles M. Weissのめぐりあわせでありました。そのおかげで、あの、Dr. David Garberを招聘することができ、Dr. David Garberはそれがきっかけで、当会の特別顧問に

なっています。現在の AAID の役員との交流も広がり、ほとんど毎年 AAID の年次大会に参加し、さらなる交流を深め続けています。

もちろん、国内においても年に 4 回の定例会では会員による演題発表や症例検討会、症例相談会などを行ない、会員のインプラント学会総会や地方会での積極的な発表をサポートしています。また、一人でも多くの会員が認証医・専門医そして指導医へとキャリアアップし、より安全で正しいインプラント治療を国民に提供できる人材育成に寄与できる研究会として、研鑽を重ねていきたいと考えています。

(文責：副会長 清水孝治)

研修施設一覧

本学会には認証医取得、専門医取得の単位を得るための学会認定の研修施設に大学系 25 施設、臨床系 18 施設があります。多くの先生方は臨床系の研修施設で学会指定の研修カリキュラムに則り、112 単位 (84 時間) 以上の研修を受けた後、認証医、専門医を目指しておられます。今回、臨床系研修施設をご紹介しますので、受講希望の先生方は、お申し込みください。なお、年内には各研修施設でホームページを立ち上げるようになっていきますので、本学会のホームページから閲覧することも可能になります。

北海道形成歯科研究会

施設長：松沢耕介

〒063-0003 札幌市西区山の手 3 条 2 丁目 5-8
松澤歯科内

Tel : 011-613-4111 Fax : 011-641-1595

北日本口腔インプラント研究会

施設長：三嶋 顕

〒068-0027 岩見沢市 7 条西 5-20-1
三嶋歯科医院内

Tel : 0126-23-7733 Fax : 0126-25-0248

嵌植義歯研究所

施設長：懸田利孝

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-16

Tel : 022-265-4811 Fax : 022-214-1818

青森インプラント研究会

施設長：梅原正年

〒036-8182 弘前市土手町 123

Tel : 0172-32-7330 Fax : 0172-32-7330

埼玉インプラント研究会

施設長：根岸邦雄

〒336-0002 さいたま市北浦和 1-1-11-2F

Tel : 048-811-3003 Fax : 048-811-3004

(社)日本歯科先端技術研究所

施設長：築瀬武史

〒105-0014 港区芝 1-8-25

芝 TK ビルディング 4F

Tel : 03-5476-2004 Fax : 03-5476-2006

ユニバーサルインプラント研究所

施設長：星野清興

〒105-0004 東京都港区新橋 1-11-2

鈴木ビル 3F

Tel : 03-3573-2360 Fax : 03-3573-2360

東京形成歯科研究会

施設長：奥寺 元

〒114-0002 北区王子 2-26-2

Tel : 03-3919-5111 Fax : 03-3919-5114

日本インプラント臨床研究会

施設長：井汲憲治

〒370-0069

群馬県高崎市飯塚町 457-3

(医)石倉歯科医院内

Tel : 027-361-8783 Fax : 027-361-1346

総合インプラント研究センター

施設長：梨本正憲

〒276-0023 八千代市勝田台 2-6-2F

Tel : 0474-83-3398 Fax : 0474-84-7130

新潟再生歯学研究会

施設長：榎本紘昭

〒950-1203 新潟県新潟市大通黄金

3 丁目 4-38 北陸黄金ハイツ F101 号

Tel : 025-374-4897 Fax : 025-374-4898

口腔インプラント生涯研修センター
 施設長：田川 清
 〒460-0011 名古屋市東区白壁 5-5
 Tel：052-931-2177 Fax：052-931-2181

〒612-0024 京都市伏見区深草野田町 9-2
 大村歯科内
 Tel：075-641-2802 Fax：075-644-0484

愛知インプラントセンター
 施設長：堀田康記
 〒463-0073 名古屋市守山区守牧町 13
 堀田歯科内
 Tel：052-792-5843 Fax：052-792-3425

臨床器材研究所
 施設長：川原春幸
 〒570-0035 大阪府守口市東光町 1-22-27
 Tel：06-6993-1011 Fax：06-6993-3311

京都インプラント研究所
 施設長：山上哲賢
 〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入ル
 新京都センタービル 5F
 Tel：075-343-0730 Fax：075-342-0630

大阪口腔インプラント研究会
 施設長：西村敏治
 〒553-0003 大阪市福島区福島 7-6-4-4F
 Tel：06-6453-8899 Fax：06-6453-8849

ジャシド（新日本臨床歯科インプラント協会）
 施設長：大村 桂

九州インプラント研究会
 施設長：添島義和
 〒860-0805 熊本市桜町 1-28-105
 熊本デンタルフォーラム内
 Tel：096-352-5976 Fax：096-359-0261

新規研修施設

大阪大学歯学部附属病院 施設長：前田芳信
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-8
 Tel：06-6879-2954 Fax：06-6879-2957

平成 19 年度指導医合格者

岸 民祐（(社)日本歯科先端技術研究所）
 高嶋秀隆（愛知インプラントセンター）
 田辺俊一郎（朝日大学歯学部口腔インプラント科）

西村賢二（佐賀医科大学歯科口腔外科学講座）
 村上 弘（愛知学院大学歯学部附属病院）
 山崎 裕（福岡歯科大学インプラント科）

平成 19 年度専門医合格者

栗澤重樹（東京歯科大学歯内療法学講座）
 安藤正実（ユニバーサルインプラント研究所）
 市川博彰（東京歯科大学歯内療法学講座）
 岩本 浩（大阪口腔インプラント研究会）
 忌部 正（臨床器材研究所）
 内田圭一郎（昭和大学歯科病院）
 枝並宏治（ユニバーサルインプラント研究所）

江藤隆徳（大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科）
 加藤良一（総合インプラント研究センター）
 黒岩 茂（新潟再生歯学研究会）
 小池宏忠（臨床器材研究所）
 小林文夫（名古屋大学医学部 口腔外科学講座）
 今野雅之（北日本口腔インプラント研究会）
 庄内晃二（北日本口腔インプラント研究会）

添島正和 (九州インプラント研究会)
高橋淳一 (口腔インプラント生涯研修センター)
田代教二 (九州インプラント研究会)
塚本信隆 (愛知学院大学歯学部附属病院)
辻 光弘 (佐賀医科大学歯科口腔外科学講座)
直野公一 (嵌植義歯研究所)
蓮井義則 ((社) 日本歯科先端技術研究所)

林 尚史 (愛知インプラントセンター)
布田 博 (総合インプラント研究センター)
門司達也 (佐賀医科大学歯科口腔外科学講座)
安光千昭 (九州インプラント研究会)
山道在明 ((社) 日本歯科先端技術研究所)
龍方省二 (北海道形成歯科研究会)
和田 猛 (ユニバーサルインプラント研究所)

新入会者紹介

(平成 19 年 12 月 28 日～平成 20 年 5 月 31 日)

黒澤正雄,	安部貴之,	岩崎明日香,	酒井暁美,	岩渕大珠,	五十嵐丈士,	山下晶子,	奥村直子,
三上和代,	阪中孝一郎,	山口 愛,	谷川克己,	岡田みわ,	渡辺仁資,	永山一成,	細野拓生,
一志恒太,	吉田明弘,	富永真紀,	神谷研一,	下地恵公,	中西 紀,	川野桂吾,	小笹泰寛,
吉田格也,	石津裕識,	古橋匡文,	番匠千津,	駒井英人,	山口文誉,	西馬伸幸,	橋本裕紀,
角野奈津,	野村六也,	高橋寿也,	才川隆弘,	藤谷崇人,	谷口良二,	堀 雅文,	加藤伸一郎,
春藤幸伸,	松田健男,	濱川知也,	新田茂夫,	中村雄次,	三神 厚,	富永貴也,	坂牧 玄,
村瀬隆一,	大久保弘記,	岡村光信,	中曾根祐司,	宮尾斉隆,	泉 和幸,	荒関 潤,	中西伸介,
村岡重忠,	森田 潤,	浅岡 誠,	矢澤一行,	濱田佑輔,	長谷川慶,	中村潤二,	岩永 讓,
茂木世紀,	浜脇康信,	谷川美枝子,	佐藤容子,	渡辺崇嗣,	高森愛子,	高橋純一,	森 啓輔,
川島徳道,	高橋 勇,	志岐一欣,	宮田美幸,	細野 明,	大山幸治,	鈴木研治,	新名主耕平,
高山義之,	熊澤康雄,	加藤崇雄,	川内一浩,	佐山亜希子,	引地尚子,	勝部義明,	佐藤 尚,
中川恵良,	五十嵐めぐみ,	永作美樹,	福田千鶴,	佐野真弘,	澤田大定,	湊 隆生,	六島嘉一,
原島千歳,	円子奈々,	根本美保子,	佐藤勝史,	藤原亮一,	藤原 博,	岩上正博,	須賀俊二,
藤内 祝,	小松崎豊,	寺地勇人,	柴田幹彦,	加藤嘉純,	西原秀幸,	市野孝昌,	金城光也,
宮原香苗,	湯村宣敬,	酒井義正,	富田文貞,	中村雅之,	山下 智,	栢原 純,	富田佳好,
関 研三,	中川昌基,	安光千年,	村田 郁,	松本敏光,	下田孝義,	蒔田知也,	神津 聡,
佐藤 裕,	香月麻紀子,	村山哲秀,	古山令子,	近藤孝洋,	永田達也,	藤城吉正,	外村武士,
松瀬雄三,	牧繪 陽,	岩田美穂子,	寺島 知,	石田純一,	河合一郎,	岡和田啓吾,	勢島 典,
山本宏治,	新中康史,	藤田修平,	北村辰彦,	飯島進吾,	藤城靖員,	丹羽 崇,	高田匡基,
北村 晃,	平岡美里,	重石英生,	鎌田伸之,	清水玄介,	涌島 学,	中島伸也,	山内大典,
権藤暁曠,	三尾真人,	清野和夫,	吉野文彦,	田村貴彦,	坂上竜資,	副島將路,	小林英史,
長谷川勇一,	神作拓也,	八木保之,	南 正彦,	小林友貴,	関 豊成,	宮崎芙裕子,	大藪祐子,
外木守雄,	小澤麻由美,	西 琢磨,	吉田穰人,	喜多大作,	原口大志,	小池英樹,	川上裕嗣,
佐藤敦子,	二川浩樹,	土屋 厚,	岩井浩子,	渡邊哲也,	嶋根 涼,	西尾祐一郎,	林 裕幸,
建部廣明,	小川希和子,	柳澤一郎,	前田 誠,	岩上栄里,	平江千賀子,	高橋侑奈,	五日市結,
石田康郎,	島崎奈美,	橋口清光,	小野舞子,	櫻みゆき,	土屋美麗,	比嘉寛子,	棚原百合香,
藤本雅子,	浅野祐二,	江原雄一,	田家亮太郎,	長谷川友香,	東條貴代美,	小林香奈莉,	梁川春美,
井田 篤,	本多利人,	石橋賢一,	椎葉俊司,	熊澤龍一郎,	村上 昇,	稲葉 智,	松本直樹,
友田眞紀,	早川裕紀,	古屋克典,	金子友紀,	浅井知子,	西尾拓郎,	中原 賢,	小野里元気,
FUJIMOTO J.LUIS,	宮崎美佳,	生川昌也,	内橋隆行,	白神紘太郎,	谷 寛之,	篠原英明,	田村博昭,
高橋 大,	横井由紀子,	大橋裕子,	前田伸子,	鷲見隆仁,	小原澤友伸,	守岡禎明,	昆はるか,
鈴木慎太郎,	河原孝子,	丸山香苗,		竹林さやか,	山下 博,	大坪青史,	佐野公成,

津嶋邦崇,	原田由城乃,	栗林幸子,	鎗田昌夫,	鈴木孝彰,	柳澤邦博,	大野晃教,	齋田牧子,
仲里正博,	松島綾子,	渡邊知恵,	石田俊輔,	竹内尚士,	上原行博,	久納玄揮,	上原弘美,
黒田 努,	岡田鈴人,	水上直弘,	瀧口晋平,	星津里香,	千藤里美,	篠原尚美,	水野遥子,
鶴巻春三,	森 麻葉,	木村美香,	原澤美穂,	吉岡洋治,	原 博章,	山尾雅朗,	穂積かほる,
綿貫明子,	坂口由美,	西尾真衣,	飯田恵子,	稲田育久,	内藤早苗,	三隅沙緒理,	光武督剛,
吉田健二,	小川賢治,	堀 雅人,	高橋英敬,	中本知之,	久山佳代,	水谷好克,	重松知宏,
長屋 亮,	清水 寧,	金子智子,	山本憲利,	水橋博行,	南 伸也,	佐々木穂高,	米田香織,
林 幹明,	松下祐樹,	大倉顯智,	斎田寛之,	松田信介,	山下寿子,	横瀬敏志,	中 貴弘,
岩元健剛,	斎田さやか,	薄井陽平,	関根浩二,	和田隆史,	杉浦 勉,	勘久保真樹,	松田謙一,
山羽京子,	松田大輔,	山内義之,	服部幸男,	金 美攤,	石田 健,	高島利加子,	深津雄己,
日野直樹,	河野高志,	大穂耕平,	高橋 良,	二宮健司,	足立了平,	金子眞二,	宮山直也,
松本浩志,	大川内秀幸,	高野登志雄,	国重啓昌,	小倉絵美子,	南 匠,	野阪ひとみ,	林 大祐,
片桐 涉,	吉崎絵梨子,	中村直史,	安武まゆみ,	恒吉隆奥,	佐々木匡理,	山口貞博,	岡田 淳,
広末 知,	黒部倫朗,	関 威夫,	野苺家清,	福井淳一,	佐々裕子,	横山良子,	岩本宗春,
杉崎正規,	関谷弥千,	伊藤 学,	坂田龍義,	古谷昌義,	長崎孝司,	杉 友貴,	竹中誠一郎,
鈴木丈夫,	竹林 晃,	引野直美,	實野典子,	上枝麻友,	竹下 亮,	小野 廣,	三野卓哉,
峯田公隆,	櫻井宏樹,	松原 聡,	浅井潤彦,	竹内克実,	熊田 愛,	豊島貴彦,	太田順子,
山口太郎,	米森 誠,	濱口茂雄,	塩塚理人,	北川剛至,	古賀久嗣,	中島崇志,	庄司一恵,
南 和延,	清水 誠,	坂井孝郎,	勝俣 宗,	川田隆央,	浅野 隆,	岩田治郎,	宮内美和,
吉野英世,	和田絵美,	須藤るみ子,	荒牧克哉,	小野重弘,	島末 洋,	水田邦子,	杉山 勝,
臼井 勇,	木下安紀子,	市野川順一,	遠藤豪紀,	William D Nordquist,		矢ヶ崎隆信,	大塚浩史,
正井佑典,	平田奈緒,	佐々木智美,	石井利昭,	市川哲也,	岩崎正一郎,	姫野俊昭,	大杉智昭,
渡辺多恵,	神岡 徹,	堀 紀雄,	加藤陽一郎,	梅本和也,	白井崇浩,	黒澤治伸,	千葉倫也,
吉田智之,	石原正雄,	佐藤貞雄,	岡 和隆,	浜川裕之,	大桶華子,	工藤 勝,	川畑政綱,
古橋明大,	森川英彦,	行方隆博,	津守伸明,	笹崎淳仁,	山森翔太,	上嶋博美,	村上和宏,
小正 聡,	中妻可奈子,	田中富貴子,	成末 渡,	岩佐晶子,	河村衣里子,	岡由香里,	中村和人,
森 英雄,	小野田尚仁,	櫻庭 実,	森下理加,	高柳篤史,	宇野一雄,	大久保光朗,	渋谷兼太郎,
伊藤克行,	吉野 晃,	星 憲幸,	奥井 森,	吉田敬子,	菅谷和之,	石川恭敬,	鈴木敬三,
長谷川浩子,	高野直樹,	和泉健夫,	土本洋平,	猪狩安豊,	中村直史,	江口壯壽,	堀内 晃,
藤田栄伸,	中村智彰,	武並康史,	山田 收,	佐々木桂,	片渕三千綱,	益子正範,	大垣博之,
澤田昭仁,	瀧口 悟,	新川重彦,	平野友理,	衆原淳之,	孫 弘樹,	田中 淳,	村上雅子,
田中佑人,	金田貴哲,	後藤英夫,	鎗木正紀,	植松裕美,	緒方志暢,	前川 久,	大石庸二,
杉 幸祐,	暈 貴行,	北村洋一,	笈田育尚,	白土雄司,	米澤敏信,	増山有一,	熊木康雄,
原野典子,	備前元文,	伊藤彰英,	浦 健一,	木村裕一,	野口 映,	飯田高久,	河野正史,
木村恵美子,	徳永奈津子,	松本絵美,	園田哲也,	内橋康行,	藤田勝弘,	寺井しのぶ,	内田砂智子,
櫻井良子,	小竹宏朋,	作誠太郎,	岡崎 愛,	山口建治,	加藤久尚,	金子勲夫,	正井久嗣,
望月久子,	梅影泰嗣,	犬飼啓介,	島 誠一,	田部 修,	岩本義博,	栗山壮一,	山本 愛,
古関貴敏,	谷尾和正,	小司利昭,	月村直樹,	持田千久紗,	古川尊寛,	本田 覚,	山口ゆり野,
深田弘幸,	松浦知和,	大川 清,	中村まり子,	山影俊一,	沼田昌宏,	佐々木英隆,	奥川哲平,
丹菊亜希子,	川口千治,	鈴裏 実,	中村俊英,	加納貴充,	板山明弘,	藤井政樹,	中谷逸希,
秋月一城,	中井政徳,	竹内一洋,	矢吹克哉,	宮野貴彦,	松沢正宏,	松田正司,	壺坂英哉,
河村雅俊,	伊東義雅,	丸山啓介,	本田千畝,	長谷場務,	平野裕一,	今野福男,	礪兼衣里,
高橋良多,	谷池直樹,	竹信俊彦,	佐藤崇之,	湯本夏子,	黒瀬基尋,	佐藤聖子,	松崎 等,
植村修作,	井下一樹,	上田 潤,	國佐一男,	中向井政子,	坂井裕大,	岡本吉史,	川野真太郎,

松村香織,	飯田政和,	河野隆幸,	端場正臣,
森嶋 圭,	長澤正一,	荒木 修,	根津 浩,
高 敏洋,	吉村友秀,	中川 中,	浦本大三,
戸嶋慎一,	佐々木嘉史,	英 宏幸,	三木隆寛,
鍛治田忠彦,	武部裕光,	兒玉千恵,	植田公弘,
阿部頼子,	森田美弥子,	小林明子,	塚本匡宏,
森山浩子,	山中 武,	岸田宏二,	吉岡正行,
川村忠寛,	亀井孝一郎,	吉田恵子,	高橋正史,
竹内一弘,	西山 敦,	清水 彰,	伊藤泰司,
黒井隆太,	宮下泰起,	植埜修司,	舘庭秀也,
沼田靖子,	鳥羽山剛,	高橋康輔,	田中昭子,
後藤吉平,	佐藤江里子,	江間秀明,	田中文晴,
荒澤 恵,	福島美佐子,	細川洋一郎,	永合徹也,
大西清知,	安彦善裕,	齊藤正人,	八上公利,
酒井 陽,	高松朋矢,	河原日登美,	梅林雅史,
清水絢子,	豊永善之,	高橋利士,	旗手隆博,
松尾健生,	山田紘子,	中山千香,	根木卓也,
花田真也,	安原 剛,	湯本泰弘,	吉田真一郎,
岡本康宏,	久保勝俊,	篠原沢雄,	久原 隆,
小田切憲,	藤本佳紀,	定信恵子,	橘 智彦,
小川光世,	佐藤千歩,	千秋宜之,	隅田 太,
上田明広,	山岸 清,	川田真梨央,	柴田豊子,
富永康彦,	大塚福長,	佐藤亜紀,	本田久恵,
杉山蓉子,	柁安秀樹,	原田孝行,	高橋耕一,
海野 学,	藤田亜津美,	伴 葉子,	花谷正信,
夕部寿人,	津田直彦,	出山文子,	趙 恩嬋,
岡田桃子,	堀尾浩彦,	住友万紀子,	森 太一,
福田晃久,	水藤雅彦,	原田かおり,	宮本真志,
白洲公敏,	町田賢太郎		

(以上 720 名)

第3世代

インプラントロジ

日本から世界へ…

マイティスアロー インプラント





B B C 株式会社 ブレーンベース

〒140-0014
東京都品川区大井1-22-13 米山第2ビル6F
営業時間 月～土 AM 9:30～PM 6:00 (日・祝日休業)
承認番号 21500BZZ00187000



製品の特長

- ・高い精密加工技術を誇るスイスですべての製品を製造
- ・症例やニーズに合わせて1回法と2回法の選択が可能
- ・インターナルHEXを採用し、審美性と安定性を実現
- ・高い初期固定と手術時間の短縮を実現したセルフタッピングスレッド
- ・症例に応じて選択できる多彩なインプラント・補綴パーツをラインナップ

※ご質問・ご不明な点がございましたら、当社及び営業担当までお問い合わせください。




A RELIABLE PARTNER FOR RELIABLE IMPLANTS.

医療機器承認番号 21600BZY00706000 21700BZY00456000

製造販売元 **株式会社 アスバック コーポレーション**
A RELIABLE PARTNER FOR RELIABLE IMPLANTS.
本社 大阪府吹田市江坂町1-23-28 (江坂南口ビル) 〒564-0063 TEL: 06-6384-6921
東京営業所 東京都台東区上野2-11-15 (株式会社モリタ内) 〒110-0005 TEL: 03-3834-6165
www.aspac-co.jp

発売元 **株式会社 モリタ**
大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL: 06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL: 03-3834-6161
www.dental-pilaza.com

HAKUHO
HAKUHO CO., LTD.

Oral Rehabilitation Family

充実の口腔インプラントシステム

●承認番号20400BZY00156000
●承認番号21100BZY00289000

SPLINE
DENTAL IMPLANT
SYSTEM

MP-1TM



創傷治癒促進コラーゲン製剤

●承認番号(07B)第0024号

CollaTape[®]
CollaCote[®]
CollaPlug[®]



GTR用タイプIコラーゲン 吸収性メンブレン

●承認番号21100BZY00280000

BIOMEND[®]
Absorbable Collagen Membrane



非吸収性多結晶 ハイドロキシアパタイト骨補填材

●承認番号(61B輸)第126号

カルシタイト
Calcitite[®] 2040-12
カルシタイト
Calcitite[®] 4060-2

※シリンジは2040-12のみに付属しています。



zimmerカルシテックが選ばれる理由。

97%以上の結晶率を誇るスプライン HA コーティング (MP-1) は、チタン表面では決して得ることができない生体との一体感を実現します。

また、パイオメンド、コラシリーズ、カルシタイトなど、再建治療のための製品ラインナップがインプラント治療をはじめ、歯科医療の発展を支えています。



MP-1, Spline, Calcititeは、Zimmer Dental社の登録商標です。
BIOMEND Absorbable Collagen Membrane, CollaTape, CollaCote, CollaPlugはIntegra LifeSciences社の登録商標です。
©2005 Hakuho Corporation. All rights reserved.
許可番号 13B1X00079

●より詳しいご説明をご希望される場合、あるいは資料請求、研修案内をご希望の場合は下記までご連絡ください。
東京(03)3265-6251/大阪(06)6949-0610/福岡(092)261-7100/札幌(011)875-1092
▶FAX フリーダイヤル 0120-118-084 ▶ホームページアドレス <http://www.hakuho-d.com/>

zimmer dental社輸入販売元
株式会社 白 鵬
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-3-23
ISO 9001
JQA-S21114

▶ 待望の書 ついに発刊!

パーシャル・デンチャー 新時代—インプラントをどう活かすか

編著装 金子一芳

共著 須貝昭弘・松井宏榮・千葉英史
甲田和行・萩原 治

■本誌に好評裏に連載した「テレスコープとインプラント」に大幅な増補をして書籍化した。

■GPという立場から、“臨床で最も大切なことは何か”を問い続ける著者らが、パーシャル・デンチャーとインプラントの臨床で遭遇する問題に沿って多数の症例を提示し、「今ならどうするか?」という視点から新しい照明を当てる。

■欠損の状況を大きく改善させるインプラントという新たな切り札を残存歯や補綴物とどう協調させ、既存の歯科臨床とシームレスに共存させるか、という未知の問題に経過観察に基づいた示唆に富む記述で迫る。

■インプラントがGPによって臨床応用されはじめた今、安心して使う上でのガイドラインも提案する。

■欠損補綴の臨床に多くの示唆を与える本書の出現は今後に大きな影響を与えるにちがいない。



■A4変判・173頁・上製・函入り
定価11,550円(税込)


内容目次

- | | | |
|---------------------|----------------|------------------|
| 01 義歯はなぜ嫌われるのか | 05 咬合支持の確保 | 09 多様な症例への対応 |
| 02 ライバルはブリッジ | 06 片側処理の拡大 | 10 4点支持による咬合の再建 |
| 03 インプラントとどう向き合うか | 07 欠損拡大のコントロール | 11 目標は天然歯による歯列保持 |
| 04 パーシャル・デンチャーからの移行 | 08 下顎は無歯顎にしない | 12 最後臼歯の補綴 |

株式会社 **ヒョロン**・パブリッシャーズ

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町15番地 神田TKMビル
Tel.03-3252-9261~4 Fax.03-3254-3876
<http://www.hyoron.co.jp>

**患者さんが望む
安心安全確実な
インプラント治療の為に
サージカルガイドシステムが
不可欠な時代となりました。**



医療機器製造業許可証 27BZ200092
第3種医療機器製造販売許可証 27B3X00225
医療機器「歯科用インプラント手術器具 BoneNavi サージカルガイド」
届出番号 27B3X0022500001

BoneNavi System 特許申請中
ボーンナビ

サージカルガイドはもちろん、骨切り症例やソケットリフト法、リッジエキスパンション法など先生方のアイデアが反映できるコンピューターガイドシステムが完成しました。

標準価格：40,000円～

販売元
和心も美しく
和田精密歯研株式会社
〒532-0002 大阪市淀川区東三国1-12-15 6F
TEL (06) 4807-6700 FAX (06) 4807-6788
HP <http://www.labowada.co.jp>

製造元
BioNIC Bionic 株式会社
〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-1 4
TEL (06) 6322-2029 FAX (06) 6322-2029
HP <http://www.bionic.jp.com/>

ASTRATECH DENTAL

TiOblast®
Micro Thread™
Conical Seal Design™
Connective Contour™

Astra Tech BioManagement Complex™

— function, beauty and biology in perfect harmony —

※詳細番号 207008Z000070000
298008Z000033000
298008Z000034000
詳細番号 13B1X00020

ASTRA
ASTRA TECH

A company in the AstraZeneca Group

製造販売業者 **アストラテック株式会社** 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16
TEL:03-5775-0515 FAX:03-5775-0571 <http://www.astratech.jp>

GC

GENESiO Debut

インターナルフィクチャー「ジェネシオ®」を加えた
ジーシー インプラントシステム"Re (アール・イー)"。
2つのシステムが臨床の幅を広げます。



GC IMPLANT SYSTEM Re
internal implant GENESiO
external implant SETiO

taper straight

高度管理医療機器 209008Z00066000 ジーシーインプラント
高度管理医療機器 214008Z000100000 ジーシーインプラントシステム Re
高度管理医療機器 214008Z00066000 ジーシーインプラント Re

株式会社 ジーシー www.gcdental.co.jp/

※掲載は、2008年3月現在のものです。製品の仕様・外観等は、予告なく変更になる場合があります。

MORITA



実現・80μmの世界

ボクセルサイズ80μmの超高解像度で、拡大してもギザギザのないスムーズで滑らかな画像を実現。広い撮影領域φ80×H80mmでも高解像度を維持。

少ない線量で高品質な三次元画像を提供。
インプラント、根尖病巣、顎関節、埋伏歯など幅広い精査・診断が可能。

- ズーム再構成機能を新搭載
 - 撮影した画像データ上で、関心領域の拡大が可能。
 - ボクセルサイズ80μmの超高解像度で、拡大してもギザギザのない滑らかな画像。
- φ80×H80mmの撮影領域に対応、切替可能な撮像領域
 - φ80×H80mm φ60×H60mm φ40×H40mm
- 撮影領域が大きくても高解像度を維持
- 軟組織から硬組織まで幅広いダイナミックレンジと豊かな階調表現能力
- ワンデータビューアソフト
- ポリウムレンダリング表示
- 院内ネットワーク対応

●販売名、スリーディー・エックス・マルチマイクロCT
●標準価格 35,000,000円(2007年12月21日現在) 消費税別
●品質保証書記号等 214008Z000757000

3DX MULTI-IMAGE MICRO CT FPDS 新登場
スリーディー・エックス・マルチイメージ マイクロCT FPDS

発売 **株式会社モリタ** 製造 **株式会社モリタ製作所**
 本社工場 福岡県糟屋郡宇美町大字西小字新町 660 〒812-8533
 TEL (075) 811-2141
 大田工場 福岡県糟屋郡宇美町大字西小字新町 660 〒812-8533
 TEL (075) 811-2141

目 次

本号のトピックス	
平成 20 年度総会開催される	1
次期評議員紹介	2
平成 19 年度決算・平成 20 年度予算報告	3
第 1 回「口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会」開催案内	4
ホームページ新	5
年次学術大会案内	5～6
平成 20 年度支部学術大会案内	7～9
九州支部便り	9
平成 20 年度名誉会員ならびに表彰者紹介	9
指定研修施設紹介	
日本大学歯学部附属歯科病院特殊診療部歯科インプラント科	10
ジャシド（新日本臨床歯科インプラント協会）	11
研修施設一覧	12～13
新規研修施設	13～14
平成 19 年度指導医・専門医合格者	13～14
新入会者紹介	14～16
広告	16～20
目次	20





Three in One
機能美の集約

パノラマ、セファロ、CTを1つのマシンに搭載。軽量、コンパクトで設置の際特別な工事を必要としません。CTはφ120mm×70mmの広範囲撮影を実現、画像はすべてデジタルデータで処理されコンピュータ管理が可能です。

PreVista®
3-in-1 unit

●医療機器認証番号：219AABZ00179000

日本メディカルマテリアル株式会社

東京支社 東京都新宿区西新宿2丁目4-1（新宿NSビル10F）〒163-0810 Tel: 03-5339-3627 Fax: 03-3343-3096

名古屋営業所 名古屋市中区栄3丁目15-31（住友生命千種ニュータワービル9F）〒461-0004 Tel: 052-930-1480 Fax: 052-938-1388

大阪営業所 大阪市淀川区宮原3丁目3-31（上村ニッセイビル8F）〒532-0003 Tel: 06-6350-1007 Fax: 06-6350-8157

大阪市淀川区宮原3丁目3-31（上村ニッセイビル9F）〒532-0003
Tel: 06-6350-1036 Fax: 06-6350-5736

九州営業所 福岡市博多区博多駅東2丁目10-35（J1博多ビル7F）〒812-0013
Tel: 092-452-8148 Fax: 092-452-8177

<http://www.jmmc.jp/>